

嵐の中を主と共に

マルコによる福音書四章35〜41節

すると、激しい突風が起こり、波が舟の中まで入り込み、舟は水浸しになった。(37)

主イエスに勧められて漕ぎだした舟が、嵐にあつて沈みそうになりました。私たちの人生においても、自分たちの力ではどうすることもできないほどの困難に遭遇することがあります。そのようなときも、忘れないようにしましょう。嵐のただ中でも、イエス・キリストは主でおられます。嵐さえも、神の摂理の御手の中に入っています。弟子たちは普段ならば一時間ほどで行くところを、この夜は何時間もかけて渡ったことでしょう。人生は予定通り行かないことがあります。自らの弱さや不信仰に直面したとき、もう一度、本当に仰ぐべきお方を仰ぎ、私たちと共におられる方がどなたであるかを知らされます。ですから私たちは、予定していたコースの変更を必要以上に恐れないようにしましょう。神なしに最短期間で行くよりも、主イエスと共に何倍もかかって行くことが恵みなのです。